

# スマイル ニュース

SMILE NEWS

# 195

男女共同参画推進委員会

## ジェンダー平等の実現について

私たち人間には、一人ひとり性別に関わらず、平等に物事を選択し、決定する権利がありますが、時として個人の希望や意思によらず性別により決定されることがあるかと思います。

これまでの「女らしさ」とか「男らしさ」といった価値観を取り払い、全ての人の人権を尊重しつつ、皆が責任を分かち合う、性別にとらわれない社会が望まれます。

日本は先進国ですが、ジェンダーギャップ指数は先進国の中で最低レベルであり、ジェンダーにおける後進国になっている現実があります。これから必要とされるのは、自治会や政治の分野でも、女性が今まで以上に参加できるように環境を変えていくことだと考えます。

さらに、男性の育児休暇の取得の推進などにより育児を平等に分担する努力をすることも必要です。

1月末のニュースですが、岸田総理が、「産休・育休中のリスクリング（学び直し）を推奨している」と捉えられる発言をしたことに批判が集中した、と話題になりました。育児の本当の大変さは、やはり実際に経験してこないと分からないのかもしれませんが。政府でも会社でも、現在トップに立つ人々の多くは、まだ男性が積極的に育児に取り組むことは少なかった世代の人々ではないでしょうか。

まずは、男性が育児参加しやすいように、職場環境の整備を促すなど、社会全体で家庭をフォローアップすることにより、男女共同参画本来の目的が達成され、明るい社会づくりが実践されていくと思います。



【問い合わせ】市男女共同参画推進委員会  
(総務課総務担当内) ☎ 62-3117